

高知県における防災ボランティア活動

高知県技術士会代表幹事 右城猛
技術士(建設 / 総合技術監理部門)

1. まえがき

平成 20 年 4 月 19 日の夜, 高知県吾川郡いの町上八川下分で, 国道 194 号の山側斜面が崩壊し通行止めとなった。高知県技術士会では高知県中央西土木事務所の要請を受け, 4 月 22 日に下記の 5 名が現地を踏査した。

右城 猛 (株)第一コンサルタンツ
中村和弘 (株)相愛
森 直樹 (株)地研
宮地修一 構営技術コンサルタント(株)
上野郁夫 (株)相愛

高知県技術士会では, 平成 7 年の兵庫県南部地震の後, 橋本知事を訪問して災害発生時におけるボランティア活動宣言をしている。

平成 16 年の早明浦豪雨の際には, 県本山土木事務所からの要請を受けて出動している。高知県から要請があったのは, 今回が 2 度目である。



斜面から断続的に落石や小崩落があり, その都度砂煙が上がる。



調査結果を記録する宮地会員

2. 現地踏査



22 日の 9 時に現地集合。全員, 高知県技術士会の腕章を付けている。



地層の傾斜を調べる上野会員



滑落崖の上で亀裂を調べる森，中村会員



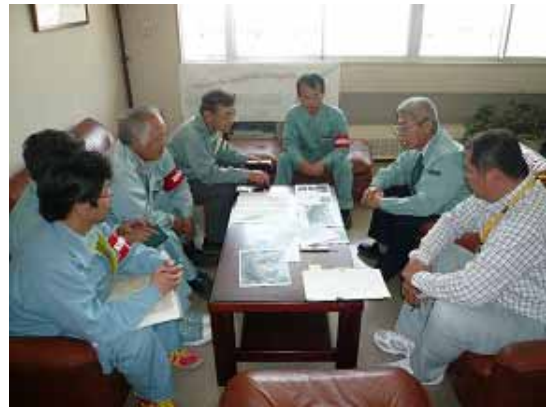
崩壊地頭部の滑落崖の調査



法面の吹付コンクリート，法枠の変状を調査する宮地，森会員



崩壊の幅をテープで測定



踏査結果を高知県中央西土木事務所の小松所長らに報告

現場斜面の約 100 メートル下には，3 世帯 6 人が住んでいる。崩壊地点の奥には本川地区(旧本川村)があり，国道 194 号は高知市と結ぶ極めて重要な生活道となっている。民家に対する安全性の確保と，一刻も早い復旧が望まれている。

現地踏査を終えたその足で高知県中央西土木事務所を訪問し，小松幹所長と坂田章地域調整主任に，地形・地質状況，崩壊状況，崩壊原因，今後の波及範囲，今後の課題について説明させていただいた。

その説明内容は，宮地会員と上野会員がレポートとして取りまとめた。それを中村会員と森会員，それに私が修正し，調整した上で，全員が納得できる内容とした。

完成した調査レポートは，4 月 25 日に宮地会員と私の二人で県中央西土木事務所を訪問し，岩崎次長にお渡ししてきた。

3. あとがき

高知県技術士会には，約 100 名の会員がいる。会員それぞれが専門性を活かし，連携を図って，県内の地盤防災や災害復旧に対して積極的に貢献していく予定である。

本原稿は，日本技術士会中・四国支部の会報に投稿したものである。

[2008 年 4 月 25 日・右城]